

## 今年度の実施報告

### 1. 検体数について

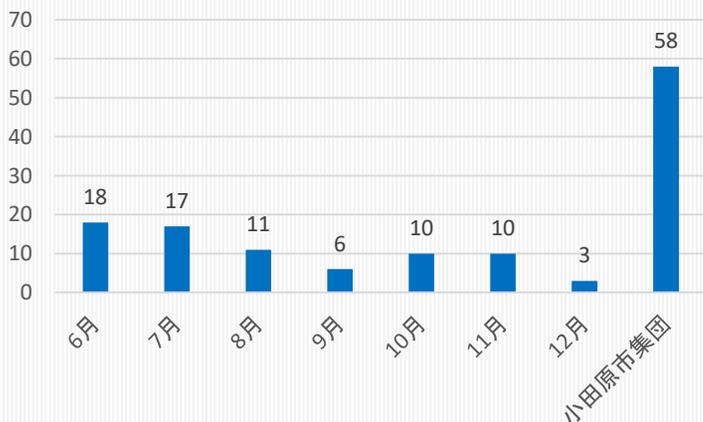
昨年6月から12月に実施させていただいた神奈川県みらい未病コホート研究に際して、皆様に多大なるご協力をいただきましたこと、改めて厚く御礼を申し上げます。

今年度小田原市の個別健診でリクルートしていただきました協力者数は合計75名でした。昨年ご参加いただいた方には今年度は除外されることから、協力者数は減っているものの皆様の多大なるご協力のおかげで、今年度も多くの方にご協力を賜ることができました。

今年度の集団検診では、昨年に引き続き小田原市、松田町・開成町・また企業様で実施をし、合計協力者数は648名で、2016年から2018年12月25日までの本研究の総同意者数は1,316名と多くの方々から研究にご参加していただいている状況です。

今後、協力者の増加に伴い、ベースライン調査の途中でも随時、皆様の日常臨床に有用な情報をご提供できるように、情報発信の体制を整えて参ります。

2018年度 検体数推移



ご挨拶

### 研究責任者 成松宏人より

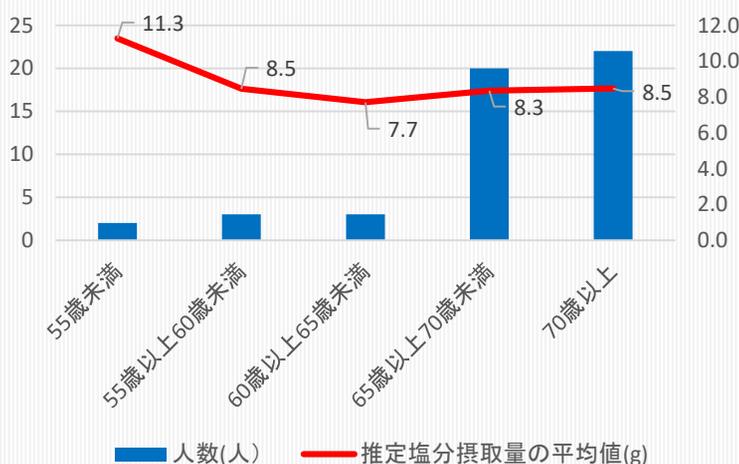
ゲノム情報を活用したがん医療である「がんゲノム医療」が広がりをみせるなど、平成30年はゲノム元年というべき1年でした。しかし、多くの期待がよせられているものの、まだまだ、入り口に立ったばかりです。多くの皆様のお力を得て、みらいの個別化医療を実現を目指し、私たち一同、努力を続けていく所存です。引き続きの、ご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

### 2. 推定塩分摂取量について

下のグラフは、2018年度小田原市の各個別医療機関様で協力してくださった方々の年齢別の推定塩分摂取量の平均値及び対象者数となります。※算出値は9月末時点の集計

協力者数の大半は65歳以上の方であり、また推定塩分摂取量については、算出データ値が少ないものの、55歳未満の若いの方が平均値が高い結果となりました。

食塩摂取量



## 来年度のお知らせ

来年度は、協力者様へのインセンティブの1つとして、「腸内フローラ検査の結果」をお返していきたいと考えております。今年度集団健診の方では既に実施をし、体制とスケジュール調整が整い次第、小田原市個別医療機関様でも実施を目標としております。「腸内フローラ検査」の実施に際し、事務局で対応しますので、各医療機関様にはお願いすることはございませんが、万が一協力者様から医療機関様にお問合せがあった場合には、お手数をおかけ致しますが、コホート研究事務局にご連絡いただければ幸いです。

### 事務局より

今年度は検体収集の締め切り時間が限定されたり、また生活習慣調査票のボリュームが増え、分かりにくい点なども多々あったかと思えます。各医療機関様よりお問合せを受けた内容は事務局内でも検討し、改善できる点については来年度に活かしていきたいと考えております。

改めまして、医療機関の皆様の多大なるご支援に心より感謝申し上げます。末筆ながら、お体に気を付けて良い新年をお迎えください。